

## ■（仮称）横町交流館テナント募集に関するサウンディング型市場調査 実施結果概要

### 1 調査の背景

黒石市では、これまで国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「中町こみせ通り」を中心に、藩政時代から続く町割やこみせ、かぐじなど歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりを進めてきました。また、「空間」を「場所」に変え、まちをつくる人や活動する人を育てる「まちそだて」を積極的に進めてきました。

しかし、人口減少や少子高齢化、車社会の進展に伴い、空き店舗の増加やまちなかの活力低下が進み、まちなかエリアへにぎわいをもたらすことは、大変難しい状況にあります。このような社会情勢の中で、持続的な生活環境の維持やまちそだてを進めていくためには、まちなかに関わり、生活者・活動者として市民一人一人が「自分の居場所」を見つけられるまちなかの魅力形成が必要です。

近年、「松の湯交流館」のオープンや中町こみせ通り（一部区間）の「無電柱化・美装化」、「黒石市立図書館」の整備が進んだことを踏まえ、令和3年度から、まちなかエリアを対象としたエリアリノベーションプランの策定に着手し、旧大黒デパート跡地における（仮称）市民サービス施設の整備に取り組み、子育て世代への支援の充実や市民交流の場の創出のほか、市役所の窓口業務や福祉業務の集約による行政サービスの効率化を進めることとしました。また、これらの新たな施設を生かしながら、周囲のまちなかの資源や建物等の利活用と再生を図りつつ、まちそだて団体の育成を進めながら、魅力的で、にぎわいのあるまちづくりを進めています。

このような状況を踏まえ、（仮称）市民サービス施設の一環として整備予定の（仮称）横町交流館は、子育て世代を含む多世代を中心市街地に呼び込み、商店街にも人が集まる環境づくりに寄与する町家カフェスペースの利活用を図るため、本施設に興味・関心を持つ民間事業者の基本的ニーズを把握し、テナント等の募集要項に反映させることを目的として、実施しました。

### 2 調査の対象

（仮称）横町交流館内に整備予定の町家カフェ（テナントブース）とします。

なお、（仮称）横町交流館内に整備予定の交流土間（共有スペース）、（仮称）市民サービス施設内外の共有スペースの利活用も調査の対象としました。

### 3 実施経過

本調査の実施経過は、次のとおりです。

実施事項	日程	参加者数等
公募開始	令和5年10月2日	
現地説明会	令和5年10月17日	1団体
質問への回答	令和5年10月25日	1つ
ヒアリング	令和5年11月6日	3団体

### 4 ヒアリング参加事業者

3団体の参加がありました。

### 5 ヒアリング結果の概要

別紙、ヒアリング結果の概要のとおりです。

### 6 まとめ

1団体は、(仮称)市民サービス施設共有スペースを活用する提案で、2団体は、(仮称)横町交流館の町家カフェや交流土間等を活用する提案でした。

3団体ともに、子育て世代を含む多世代の交流機会の提供を通じて、中心市街地に呼び込む環境づくりに寄与する提案でした。

多世代交流の方法は、ワークショップや遊び、食や文化等の体験機会の創出、子育て世代の居場所づくりなど、多様な手法が示されました。また、家賃や初期投資については、無償や低廉な費用との意見が多く、交流機会の創出に対する支援の要望もありました。

これらの提案を受け、今後、(仮称)横町交流館の管理・運営面スキームや家賃の設定などの検討をし、募集要項の作成を進めていきます。